

令和7年7月14日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

| | | |
|------------|----------|-------|
| 栃木県 | | |
| 学校名 | 管理機関名 | 設置者の別 |
| 足利市立毛野南小学校 | 足利市教育委員会 | 公立 |

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からEAAと学ぶ時間があることで、児童は外国人と触れ合うことに抵抗なく、コミュニケーションを図ることができている。
- ・第1学年から英会話学習を実施し、英語の歌やゲームを楽しんだり、身近な場面を想定しての英語でのやりとりを段階的に行ったりすることを通して、英語の表現に慣れ親しむことができている。また、授業以外でも学習した英単語等を使おうとする姿が見られ、学習の成果や積み重ねが感じられる。
- ・高学年においても、低学年からの継続した学習が積み重なり、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まり、英語を聞いたり話したり、読んだり書いたりすることに意欲的な様子が見られる。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・英会話学習を楽しんで行っている児童が多く、ALTやEAAに積極的に挨拶をし

たり話しかけたりし、自然にコミュニケーションを図ることができている。

- 高学年での英語チャレンジDAYでは、ALTやEAAに英語で自己紹介をしたり、一緒に買い物ごっこをしたりするなど、有意義な活動を行うことができた。活動を通して、英語で他者とコミュニケーションを図ることの楽しさを味わうことができた。
- 高学年においては、中学校との円滑な接続を意識し、中学生との英会話による交流活動を行い、よい刺激を受けながら、英語でのやりとりを楽しむことができた。

<保護者>

- 英会話学習、外国語活動の様子を学校だよりや学年だより、ブログ等で紹介することで、家庭での英語の学習について話をするきっかけとなっている。
- 学校公開等で授業を参観することで、外国語の学習に対する関心が高まっている。
- 第1学年からの英会話学習を実施することにより、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の育成につながっていると感じている保護者が増えている。

3. 実施の効果及び課題

1年生から学習を積み重ねることで、英語の音声に慣れ、英語を「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に抵抗を感じることなく意欲的に学習を進める児童が多い。発表の際には、相手意識を持ちながら、自信をもって自分の思いを伝えたり、友達やALT、EAAとのやりとりを行う際には、進んで話したり聞いたりする活動を繰り返し、コミュニケーション能力の向上も見られる。

今後は、授業以外の中でも実際に英語を使う機会を意図的に設定するなど、児童の生活の中で英語が自然に発せられるようになることを目指したい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

授業では、できるだけ日本語での説明を少なくできるように、教材の工夫を図ったり、簡単な英語で説明をすることを心掛けたりし、児童がより英語に慣れ親しむことができるようにしていきたい。また、ALTやEAAを積極的に活用し、児童の「話す」「聞く」「読む」「書く」能力を伸ばしていく。また、高学年では、デジタル教科書等も積極的に活用し、自ら発音や会話文を確認できるようにしたい。また、第6学年では、他校との交流や修学旅行での班別自由行動の際、英語でコミュニケーションを図る機会を意図的に設けるなどして、学習したことを実践する場を設定したい。